

ひらつか

机に並ぶのは江戸時代に作られた南原村の絵図。昨年、創建300年を迎えた諏訪神社(南原2-16-14)の記念事業推進実行委員会が、記念誌作りを進めています。10月21日(土)から始まる博物館の秋期特別展では、江戸時代の村を描いた絵図から、現代に与えた影響や地域性を探ります。



絵図から ひらつか 地域史

目次

1~3面…**特集** 江戸時代の平塚を巡る…平塚市域の村絵図を紹介し、当時の様子を探ります。
4~7面… 募集・お知らせ・スポーツ・健康と福祉
「子どもの健康」「お知らせ掲示板」

8面…「写真リポート」「市長こらむ」「がんばれ湘南ベルマーレ」
「次回納期の市税・手数料」[#hiratsukagood]
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
スマートフォンアプリ「マチイロ」からもご覧いただけます。

江戸時代の平塚を巡る

江戸時代の平塚市域には、54の村や宿場が存在しました。道や畑、川、屋敷など、村一つ一つの様子を描いた絵図は、土地の検分や洪水被害の実態把握、裁判の証拠などに用いられる資料として作られました。絵図には当時の人々の地域への思いが残ります。

☎ 博物館 ☎ 33-5111

絵図が伝える地域の歴史

「絵図は近代の地図とは異なり、正確に描かれていない分、村ごとに何が重要だったかを知ることができま」と市博物館の早田学芸員は話します。近代的な測量をしていない絵図は、道や畑など正確な距離や大きさを示しているわけではありませ

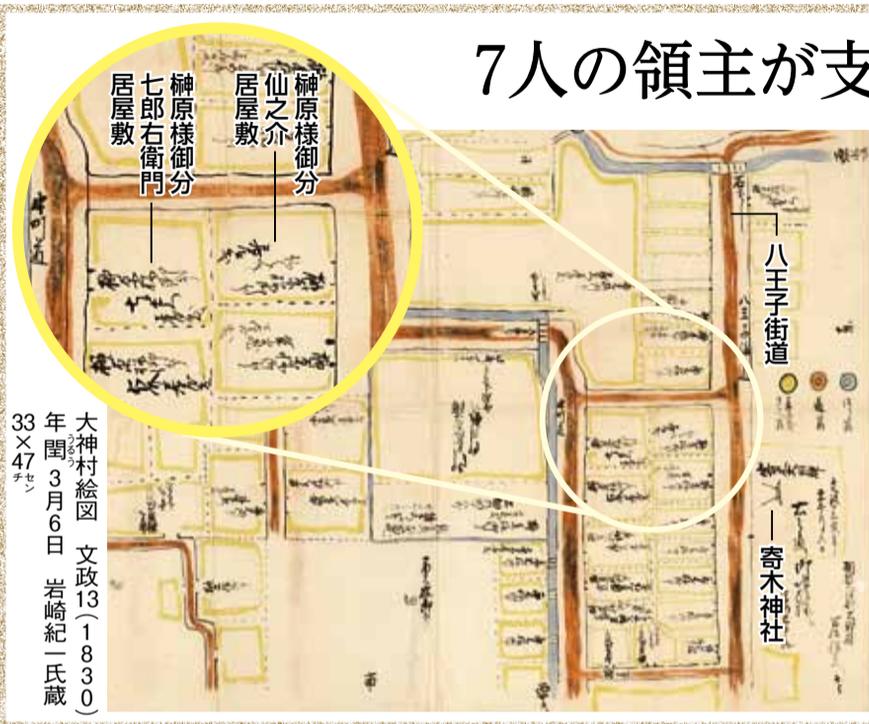
「図に書き記された文字は、必ずしも同一方向に書かれているとは限らないことから、村の人々が絵図を囲み、相談しながら、作成していたことがうかがえます。」



村絵図を説明する早田学芸員

7人の領主が支配した大神村

大神村の絵図は、平塚から厚木へ向かう八王子街道沿いにある寄木神社から西の集落部分の水路・道・屋敷境が描かれています。旗本・榊原氏領分の農民が榊原氏に提出するために作成した村絵図は、屋敷ごとに農民名と支配領主が記されている珍しい絵図です。一つの村を複数の領主が支配する「相給」が取られていたことが分かります。全国的には珍しい相給は、平塚では多くの村で見られ、大神村は7人の領主が支配する村でした。



大神村絵図 文政13(1830)年閏3月6日 岩崎紀一氏蔵 33×47センチ

消えた歴史をよみがえらせる

「絵図を見ると南原地区と諏訪神社の変遷がよく分かります」と話すのは、諏訪神社の記念事業推進実行委員会の石黒孝幸さん。今年2月に発

「平塚は川を描いた絵図が多いことから、洪水被害や用水が重要視されていたことが分かります」。北金目村の絵図には南金目村内にある大堤が描かれています。「北金目村の絵図はほとんどが、大堤とセットで描かれています。大堤が決壊して大きな被害を受けていた北金目村は、常に大

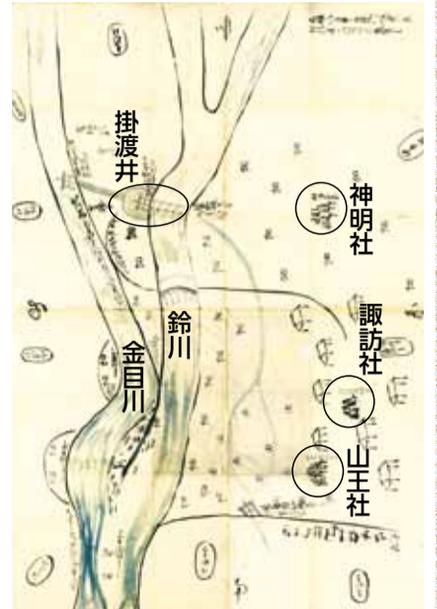
足した同委員会は、諏訪神社の創建300年を記念し、来年6月の式典に合わせて記念誌を作っています。「今年4月に記念誌作りを始



山王社の祠を調べる石黒孝幸さん(写真右)と嶋崎さん

川の影響を受けた南原村

天明8(1788)年6月、幕府役人の巡見に際して作成された南原村の絵図には一面の田畑が描かれています。住宅が建ち並ぶ現在とは全く違う姿でした。南原村は、もともと鈴川が流れていませんでしたが、宝永4(1707)年の富士山噴火で火山灰が積もり、川が氾濫したことで、享保6(1721)年に村内に鈴川の新流路が掘られました。不利益を受けた南原村は、かわりに金目川からの取水が認められ、鈴川の上をまたいで用水を通す掛渡井などの施設が設置されるようになりました。



南原村巡見絵図 天明8(1788)年6月 市博物館寄託 69×48.8センチ

地域をつなぐきっかけに

「歴史をさかのぼっていますが、消失した資料が多くあります」と石黒さんは苦悩します。1716年に創建された諏訪神社は、1923年の関東大震災や1945年の平塚空襲で、社殿が被害を受けたため、ほとんど資料が残っていませんでした。石黒さんは南原地区や諏訪神社に関する資料を地域の方から集める中で、南原村の絵図が博物館にあることを知りました。同委員会の嶋崎捷夫さんは「南原村の絵図は明治時代に、諏訪神社に合祀される以前の神明社や山王社があった場所が描かれているなど、当時の様子が分かる貴重な資料です」と力を込めます。明治時代、一村一社の方針に基づき、諏訪神社に合祀さ

れた神明社と山王社。現在、それぞれの神社はほとんど形跡を残しません。山王社があった住宅の一角には、代々受け継がれてきた祠がひっそりと残されています。江戸時代は23戸しかなかった南原村は現在、約2000世帯が暮らします。「江戸時代、神社は地域の身近な存在でした。現在も地域の祭りなどで、子どもたちが多く集まる場所として親しまれています」と話す石黒さん。「地域の歴史をまとめた記念誌を南原で暮らす方に読んでもらうことで、地域意識が芽生えるきっかけになってほしいですね」と笑顔を見せます。

◆◆◆ 博物館秋期特別展 ◆◆◆

ひらつかの村絵図を読む

10月21日(土)～12月17日(日)

江戸時代に描かれた平塚市域の村絵図、約50点を紹介して、地域の歴史を考えます。特別展示室。午前9時～午後5時(入館は4時30分まで)。

記念講演会

講堂。各70人(当日先着順)。

「絵図から見る景観」

講師は「葛飾区郷土と天文の博物館」の橋本直子学芸員です。

11月19日(日)午後1時30分～3時。

「絵図で読み解くひらつかの歴史」

講師は早田旅人学芸員です。

12月3日(日)午後1時30分～3時。

展示解説

10月22日(日)、11月11日(土)、12月9日(土)、午後1時～1時50分。特別展示室。

野外見学会 ひらつかの村絵図を歩く

11月12日(日)午前9時30分～正午。南原地区。雨天の場合は博物館講堂で解説します。20人(抽選)。
要 必要事項・イベント名を、往復はがきで、10月31日(火)までに、〒254-0041浅間町12-41博物館へ。

イブニングミュージアムウィーク

開館時間を午後7時まで延長して「地図を読む」をテーマに、学芸員が講演します。
 午後6時～6時50分(入館は6時30分まで)。講堂。各70人(当日先着順)。

- ①地質図で読む地下世界 11月7日(火)
- ②地図で見る戦の現場「決戦! 三増峠」 8日(水)
- ③明治の地形図にみる平塚の古道 9日(木)
- ④星座絵図の世界 科学・芸術・宗教の融合 10日(金)
- ⑤地図で見る郷土の移り変わり 11日(土)
- ⑥地図データを活用しようGPSの利用方法 12日(日)

☎ 博物館 ☎33-5111

平塚村・大磯村裏境争論裁許絵図 元禄5(1692)年9月18日



江戸時代の裁判で決まった 平塚市と大磯町の境界



現在の平塚市・大磯町の境界図

花水川に沿っているように見える現在の平塚市と大磯町の境界。国道1号の花水橋付近で花水川の東側が大磯町域であることや、河口付近は川の西側が平塚市域であることを、不思議に思う方も多いのではないでしょうか。

洪水のたびに花水川の流路が変化するため、しばしば争いがあった平塚と大磯の境界。大磯村の者が平塚村の海で漁をしているとして、元禄4(1691)年、ついに平塚村と大磯村で境界論争に発展しました。裁判の結果、花水川の旧河道と思われる「細沼」が両村の境界であるとする平塚村の主張が認められ、そこから海の方へ見通した線が境となりました。裁判の結果は絵図の裏に記され、このときに決定した境界が現在の平塚市・大磯町の境界となっています。

裁判の資料として作られた裁許絵図は、江戸時代前期(17世紀末)に多く作られました。社会の秩序が保たれるようになってからは、減ってきましたが、当時の裁判は現代にも影響を与えています。

土屋には城や多くの寺があった?

平塚市の北西部、秦野市に隣接する土屋地区は、現在も広大な田畑が広がる自然豊かな地域です。

下図は土屋村のうち、旗本の横山鏡次郎が支配した地域「庶子分」を描いた絵図。土屋村は庶子分のほか、惣領分・寺分の三つの地域に区分され、源頼朝の御家人で重臣だった土屋宗遠が、所領を一族で分割した「土屋三分」



によると考えられています。

庶子分には多くの寺や神社がありましたが、現存するのは熊野神社や大乗院などで、絵図に描かれている持宝院・正福寺・宗憲寺は、明治初期に廃寺となりました。

土屋村 横山鏡次郎様御知行相州大住郡土屋村之内庶子分之絵図面 天保7(1836)年3月 市博物館寄託 65.1×47.7センチ

ひらつか歴史旅

「関東ふれあいの道」にもなっている、大乗院の南側にある脇道を100mほど歩くと、見えてくるのは土屋城の跡地を知らせる案内板(下写真)。土屋氏は鎌倉時代から室町時代にかけて、土屋に城を築いたといわれています。

土屋城があった一帯は、昭和30年代に開発が進み、今では城の跡を見ることができません。開発当時は、土器などの埋蔵物が出土しました



が、発掘調査がされておらず、全容は解明されていません。

土屋城跡からさらに南へ、木々が覆う暗い道を下ると、谷戸を見下ろせる場所にたどり着きます。自然を感じられる静かな場所の脇に、供養塔が並ぶ土屋一族の墓があります(上写真)。土屋城跡に散在していた供養塔群は、昭和10(1935)年に現在の場所に移されたといわれ、土屋一族の歴史を知ることができる数少ない手掛かりです。

絵図と現代の地図を比べると、江戸時代とは違う風景、名残が感じられる風景を見つけることができます。

平成30年1月4日(木)から 市役所などの駐車場が有料になります

現在建設中の市役所本館の駐車場棟と文化ゾーンの駐車場が、1月4日から有料になります。料金は同一で、市役所本館・別館・消防庁舎・中央図書館・博物館・美術館・青少年会館・教育会館・平塚税務署の利用者は、駐車券に認証を受けると、1時間以内は無料です。自動二輪、自転車は無料で利用できます。

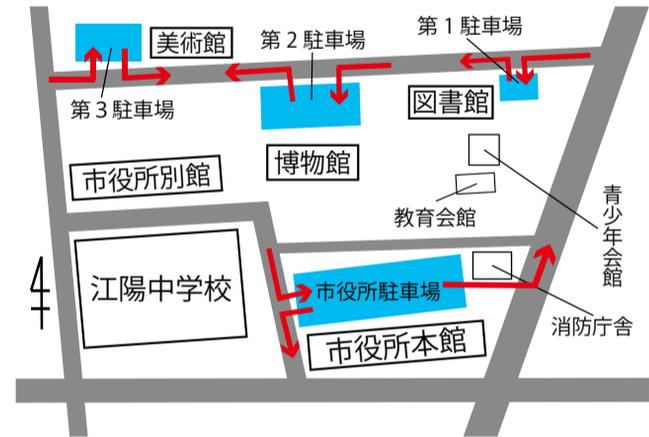
対象駐車場 市役所駐車場(新設)・文化ゾーン第1~3駐車場(中央図書館・博物館・美術館)

利用時間 午前8時~午後10時

認証の方法 ①駐車場入口で発券される駐車券を受け取り、用事のある窓口までお持ちください②窓口で駐車場を利用していることを職員に伝えてください③駐車券に職員が確認印を押します④案内窓口などで認証を受け、出庫してください。

駐車場の利用時間	利用者	利用者以外
入庫1時間以内	無料	1時間につき 300円
1時間を超えて30分につき	100円	
4時間を超えて1時間につき	200円	
最大料金	1,200円	1,500円

料金(左表) 障がいがある方などに対する減免もありません。詳しくは市ウェブをご覧ください。



駐車場の入出庫は左折をお願いします
12月28日(木)まで、西八幡臨時駐車場は利用できます

各駐車場の閉鎖予定期間

各駐車場を工事するため、閉鎖する期間があります。閉鎖中のときはほかの駐車場をご利用ください。工事の進み方で変更となる場合があります。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

駐車場	閉鎖予定期間
中央図書館駐車場(文化ゾーン第1駐車場)	11月27日(月)~12月6日(水)
博物館駐車場(文化ゾーン第2駐車場)	12月7日(木)~18日(月)
美術館駐車場(文化ゾーン第3駐車場)	12月18日(月)~25日(月)

問 資産経営課 ☎21-8763

豊原分庁舎などの窓口が 本館に移転します

豊原分庁舎や松原分庁舎などにある窓口が、11月13日(月)から順次、本館へ移転します(下表)。移転後の各課の詳しい配置は、市ウェブをご覧ください。各課の電話番号は、青少年課の青少年育成担当を除き、変更はありません。

問 庁舎管理課 ☎21-9608

業務開始日	対象窓口
11月13日(月)	1階 会計課(市税等納付専用窓口)
11月20日(月)	1階 地域包括ケア推進課、介護保険課 2・3階 平塚税務署
11月27日(月)	2階 納税課、市民税課、固定資産税課
12月4日(月)	1階 こども家庭課、保育課 3階 消防総務課、予防課、消防救急課
12月11日(月)	1階 市民課(個人番号カード交付担当)、生活福祉課
12月25日(月)	1階 市民情報・相談課(消費生活担当)、市消費生活センター、青少年課(青少年育成担当) 5階 農水産課、商業観光課 7階 文化・交流課(交流親善担当)、教育総務課、教育施設課、学校給食課、教育指導課、社会教育課、スポーツ課

募 集

応募方法は
下段

平成30年度の納税通知書 封筒の広告

4枠(選考)。1枠、縦40mm×横90mmで7万円。発行予定は18万9000部です。応募方法など、詳しくは市ウェブをご覧ください。
募 平成29年11月20日(月)までに、納税課 ☎21-8769へ。

クリスマス子ども英語教室

11月18日~12月16日の土曜日、全4回、午後2時~3時15分。青少年会館。市内在住の小学校3・4年生20人(抽選・初めての方を優先)。筆記用具、12月2日のみ色鉛筆・クレヨンなど。100円。
募 教室名・必要事項・氏名のローマ字表記・学年・参加経験の有無を、はがき・ファクス・メールで、11月2日(木)までに、〒254-0041浅間町12-41 青少年課 ☎32-7029 FAX 31-1441 f.sessionen@city.hiratsuka.jpへ。

子育て支援の会員

地域で育児の支援を受けた方と支援をしたい方が会員となり、助け合う組織です。支援する会員になる方はオリエンテーションと講習会に必ず参加してください。福祉会館。11月17日(金)の講習会は保健センター。
①説明会 1日(水)午前10時~11時30分・午後1時30分~3時
②オリエンテーション 8日(水)午前10時~正午・午後1時30分~3時30分
③講習会 13日(月)午前9時30分~午後4時30分、15日(水)午前9時30分~午後4時30分

市営住宅の入居者

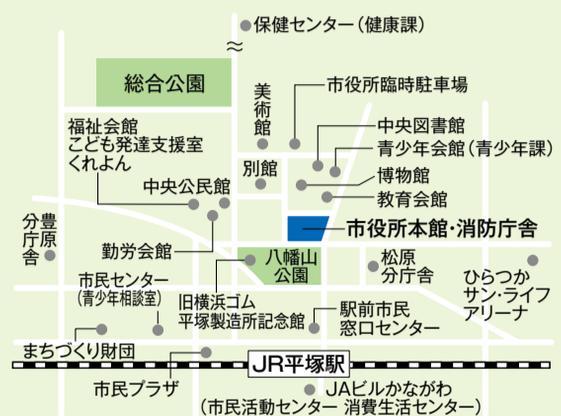
入居予定日は平成30年3月1日。次の条件を全て満たす方(抽選)。
①20歳以上または既婚
②夫婦や親子主体の家族
③市内に1年以上在住
④収入が基準以内
⑤住宅困窮理由が市の条件に該当
⑥市税などの滞納がない
⑦住宅や土地を所有していない
⑧申込者または同居しようとする親族が暴力団員ではない。ただし、単身世帯は②を除きます。
次の世帯は優遇します。
a 母子・父子
b 高齢者
c 障がい者
d 原子爆弾被爆者。
募 平成29年11月2日(木)17日(金)に本館1階案内窓口や公民館などで配る申込書を、郵送で、17日までに、〒254-0042明石町7-10 弥生ビル1階東急コミュニケーションセンター平塚市営住宅サービスセンター ☎74-4005へ。

暮らしの講座

食品添加物の役割と安全性について話します。1歳以上の未就学児の保育(4人・先着順)もあります。
11月20日(月)午前10時~正午。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方20人(先着順)。

応募方法

- 募=応募方法 (応募が必要です)
- 問=問い合わせ
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、10月23日(月)午前8時30分から受け付けます。
- メールの応募の場合 ☎以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	〒	イベント名	郵便番号
氏名		住所	住所
		全員の氏名	全員の氏名
		電話番号	電話番号
		その他の事項	その他の事項
返信		返信	

広告

湘南ひらつか 花菜ガーデン
ローズフェスティバル
10/7(土)~11/5(日)
関東有数の品種数を誇る秋バラ 約1,200品種 約2,000株
開園時間 9:00~17:00 11月6日以降は16:00まで
入園料金 大人 520円 中人 300円 小人 200円 シニア 310円
JR東海東横線 平塚駅よりバス約20分
小田原厚木道路 平塚ICより車約5分
〒259-1215 神奈川県平塚市寺田496-1
Tel 0463-73-6170
かなガーデン 検索